

ろう重複障害児におけるアセスメントを活用した指導の重要性

— 語彙指導を通して —

森田輝洋

手塚美来

喜屋武睦

(東京都立大塚ろう学校) (東京都立大塚ろう学校) (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)
ろう重複 アセスメント 記憶

【目的】

特別支援学校における児童生徒の障害の重度・重複化への対応は特別支援教育の今日的課題である¹⁾。複数の障害を併せ有する重複障害児においては、単一障害よりもその実態の個人差は大きなものであると考えられる。また、そうした重複障害児への対応に関して、重複障害学級の教員は実態把握の困難さ、指導技術面での蓄積の未整理などに課題を感じていることなどが示されている²⁾。このことから、聴覚特別支援学校においても、いわゆる「ろう重複障害児」の実態把握や指導の方向性の検討が困難であるものと考えられる。

そこで、本研究では、まず標準化されたアセスメントツールを用いて重複聴覚障害児の実態把握を行う。アセスメントの結果を基に指導計画を立案することで、効果的な指導実践について検討することを目的とする。

【方法】

1. 対象児

南関東の聴覚特別支援学校重複学級に在籍する聴覚障害児4名である。Table1に対象児のプロフィール及び発達検査の結果を示す。発達検査には新版K式発達検査を用いた。

2. 指導者

対象児は小学部の低学年学級・高学年学級にわたっており、学級担任が相互に共同で行った。

3. 指導期間・場所

授業は、2016年10月～2017年4月の間に週3、4回実施した。指導開始時期から3、4か月に一度の頻度で経時的に記録を行った。

4. 指導方法

対象児は全般的な言語遅滞があり、個人差はあるもののどの対象児も語彙数の不足が見られた。さらに、発達検査の結果対象児にはいずれも記憶に課題があった。そこで、①単語記憶課題及び②単語マッチング課題を行った。課題単語は太田・永井(1992)の中から対象児が比較的日常生活において見聞きすると想定される単語を用いた。併せて、記憶力の育成のため、4ケタの数字記憶課題も行った。尚、本研究における発達検査や指導は、保護者の同意のうえ行った。

①単語記憶課題

教室内の大型ディスプレイに単語の意味をあらわすイラストを提示し、手話・指文字での表現を確認した。その際に、手話は授業者が自ら正解を示し、指文字はイラスト下に一文字ずつ平仮名を提示した。

②単語マッチング課題

対象児に単語カードを選択させ、ホワイトボードにある複数の絵カードの中から単語カードに該当するものを選択させた。

対象児の成績は、指導と同様の方法で実施した課題に対し筆者らが記録を行った。第1回目の記録は2016年10月、第2回目の記録は2017年2月、第3回目の記録は2017年5月に行った。

【結果】

Fig.1に対象児の第1回、第2回及び第3回の単語課題の結果を示した。指導と同様にディスプレイに表示されたイラストに対し、手話及び指文字で回答を求めた。手話表出ではA児D児においては1回目と比べ2回目の正答率は高くなっているが、B児C児は、2回目は1回目よりも成績が落ちていた。全児童において、3回目は2回目よりも正答率が高くなった。指文字表出では、A児は1、2、3回目を通して正答率は0であったが、その他のB、C、D児では正答率の向上が見られた。

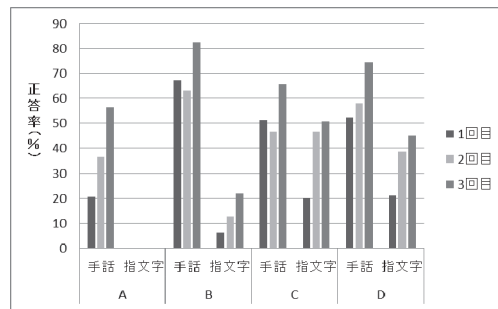


Fig.1 単語課題の結果

【考察】

手話表出において、1回目と2回目で得点が下がった要因については、指導初期における手話の非統一が考えられる。1回目の記録においては家庭での手話表現など対象児なりの手話表出で採点した。しかし、本研究を進めるにあたり正答とする手話を統一した。そのことが正答率の低下に関与したものと考えられた。指文字表出に関してはA児を除くすべての対象児において正答率が上昇しており、視覚的に消去・提示を繰り返すことで指文字記憶を促すことができたと考える。

以上のことから、本研究における語彙指導実践は、対象児にとって効果的であったと考えられる。また、指導計画を立案する際に、標準化されたアセスメントツールを用いたことで、児童が抱えている「記憶」の困難さにフォーカスをあてることができた。このように、特別支援学校においても、標準化されたアセスメントを用いることで、より効果的な指導に繋がると考えられる。

【文献】

斎藤ら(2013)、国立特別支援教育総合研究所(2011)、太田ら(1992) kiihiro, TEZUKA Mikuru, KYAN Chikashi)

Table1 対象児のプロフィール

対象児	年齢(y:m)	平均聴力 (dBHL)	装用時間 値(dBSPL)	コミュニケーション方法	C-A		主たる課題
					発達年齢/発達指数	L-S	
A	8:3	-	71.3	手話・身振り	3:3/44	2:3/31	記憶・注意・巧緻性
B	9:9	106	40	音声・手話	7:9/87	6:6/72	記憶
C	10:11	-	50	音声・手話	4:5/44	4:0/38	記憶・注意
D	11:11	70	40	音声・手話	4:2/37	3:8/34	記憶・巧緻性